

事務事業の評価(Check)

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	491 生活排水対策事業	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
		目	03	環境対策費
基本施策	19 自然と共生する、住みよいまちをつくる	細目	254	環境保全対策事業
		細目	52	生活排水対策事業
行革大綱の重点事項番号		細々目		
担当部署	コード	100200	担当者	山岡 久芳
	名称	人権生活環境部環境政策課	連絡先	20 - 9105 (内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市民	※対象件数
成果(どうする)	久米川の環境保全活動に取り組むことで自然を守り共生していく意識が高まる	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H22	関連事業	
事業内容	1.久米川流域生活排水対策推進協議会の活動支援(事務局) 2.久米川クリーンウォーキング 3.久米川流域水質調査	
社会情勢の変化等	久米川流域生活排水対策推進協議会は、平成5年に設立されて以来、久米川における水質は環境保全啓発や美化活動により改善されているものの抜本的な排水処理施設整備が急務である	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
クリーンウォーキングと街頭啓発の実施	回	千円	目標	2	目標	2
			実績	2	実績	2
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
久米川芝床橋地点の水質(BOD)調査数値		平成5年度策定された上野市生活排水推進計画の目標(水質)であるため	mg/l	目標	3mg/l	目標	3mg/l
				実績	4.0	実績	4.0
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求			
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)			
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	642	246	613	600			
事業投入人員費(B)	0.3人	2,160	0.3人	2,160	0.2人	1,440	0.2人	1,440
フルコスト(A)+(B)	2,802	2,406	2,053	2,040				

判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
個人のみだけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○
市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
民間のサービスだけでは市域全体に届かないサービスが確保できず、これを補完・生産する事業	
受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れている事業	
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
久米川流域が全国生活排水対策重点地域に指定されている。これを受け周辺地域の市民が丸となって生活排水対策の啓蒙啓発に取り組んでいる。本市としても排水処理対策として施策面で支援する必要がある。	○
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	○
サービス水準や対象を見直す余地がある。	
当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
予算の繰越の有無	無
【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
【事業名】	
受益者負担を求めることができる事業である。	
全体コストにおける負担構成は適正である。	
コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	生活排水処理施設整備等が整うまで流域周辺住民への良好な生活排水浄化のための徹底した啓発指導を行う
昨年度の実績	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 ・久米川クリーンウォーク ・該当啓発及び啓発看板設置 ・久米川流域水質調査

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	山岡 久芳
【方向性】	現状維持
【理由】	当協議会での活動内容また、本市としての協議会への支援については計画どおり維持できているが啓発啓蒙だけでは抜本的な解決には繋がらない。行政としての横断的な施策が今後の課題である。
現時点における課題、その他	久米川流域の生活排水処理施設整備並びに浄化槽の普及
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	生活排水処理施設整備等が整うまで流域周辺住民への良好な生活排水浄化のための徹底した啓発指導を行う。なお、既存の緑ヶ丘浄化センターにおいては、老朽化が著しく予算確保について下水道課と協議を要する。